

・作業内容 配電線張替え（夜間作業）

平成29年8月20日

・区間 日野～三峰口

・柱番号 30～38

秩父建設 皆野事業所

・図面 別紙

・実施予定日 平成 年 月 日

・作業手順

① 準備 準備作業は昼間に行う。（別紙）配電線張替え（昼間作業）

② 配置 ・太字の方が、各班の責任者です。（◎は指揮者）

A班 坂野・井桁 B班 渡辺・新井マ C班 近藤・石原 D班 川澄・松村 E班 井深・瀧澤 >◎新井カ・富田

A班 主に、30号・31号柱 29号柱、逃止め用にシメラーを掛ける。 圧縮スリーブ接続 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、バインド線打ち直し・・・、余裕があったら他の柱に応援、旧線撤去、跡確認・2重チェック

B班 主に、32号・33号柱 新線引き上げ後、不要になった工具類の撤去 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、バインド線打ち直し・・・、余裕があったら他の柱に応援、旧線撤去、跡確認・2重チェック

接地取外し（渡辺）

C班 主に、34号・35号柱 新線引き上げ後、不要になった工具類の撤去 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、バインド線打ち直し・・・、余裕があったら他の柱に応援、旧線撤去、跡確認・2重チェック

接地取外し（近藤）

D班 主に、36号・37号柱 新線引き上げ後、不要になった工具類の撤去 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、バインド線打ち直し・・・、余裕があったら他の柱に応援、旧線撤去、跡確認・2重チェック

E班 主に、38柱（引止カ所全般） 新線引上げ担当・・・（新井カ・瀧澤・富田）セビを使用して引上げる。 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、引止加工、縁回し・バインド線打ち直し・・・、跡確認・2重チェック

検電・接地取付け（新井カ・富田）

③ 手順



1	終列車確認	日野構内10B柱にて、終列車確認を行う。	新井力
2		終列車確認後、線路内下回り準備作業を始める。(井深主任の号令で準備作業開始)	井深
3	停電作業	日野構内10B柱にて、検電後、接地を取付ける。(運転指令操作・GS操作後、検電する)	新井力・富田
4		接地取付け終了後、電話連絡後、作業を開始する。(井深主任の号令で作業開始)	井深
5	旧線の取外し	29号柱へ逃止め用に、シメラー(0.5t)を掛ける。×3カ所	坂野・井桁
6		30号柱・38号柱付近に固定しておいたOE線を取外す。	B班・E班
7		各持分のバインド線を解く。(内・外)線のみ・・・(手があいたら他の場所を手伝う)	A～D班
8		バインド線が解けたら、38号柱の引止カ所に弛みを入れ旧線を下す。(内・外)のみ 旧線が邪魔ならカットして落としてもOKです。まだ、中線は一切いじりません・・・	E班 A～D班
9	新線の引上げ	昼間準備しておいた、新線を引上げる。(上から順番に引上げる・・・上から1番目・2番目・3番目)	A～E班
10		1番目のOE線を外側(山側)を回して、配電線腕金上部まで引上げる。(ピン碍子:内～中の間に仮置きする。)	A～E班
11		続けて、2番目のOE線も外側(山側)を回して、配電線腕金上部まで引上げる。(ピン碍子:中～外の間仮置きする。)	A～E班
12		内側・外側の位置を合わせて、旧線をカット・・・新線と旧線を圧縮スリーブにて接続する。 カットした旧線のバインド跡から、カットした所までを3線合わせてカットすれば、3線≒同じ長さになる。	A～E班(全員)
13		12、の作業終了後、各持分に戻ってから次作業に移る。 A班30号柱→31・32←33号柱B班 C班34号柱→35・36←37号柱D班 E班引上げ準備・・・	A～E班
14		E班(新井力・瀧澤・富田)にて、セビ・他を利用して、内側のOE線より引上げる。 E班(井深)が、引上げたOE線をシメラーに掛けたら、外側のOE線の引上げ作業に入る。	E班
15		(内・外)両方のOE線が、シメラーに掛ったら、無線にて合図しながら、シメラーを調整(取り)していく。 その間、各柱に上って、OE線を養生しながらOE線の張力のあんばいを確認する。(中線のデップに影響する手前でSTOP)	A～E班
16	作り込み	(内・外)の両方のデップが決まったら、引止カ所の作り込みを行う。	E班
17		その間に、中線のバインド線を解き、引下げる準備を行う。	A～D班
18	バインド打ち	(内・外)の引止カ所の取付け終了後、各柱のバインド打ちを行う。	A～D班
		(内・外)のバインド打ち終了後、すぐに中線を引下げる。	A～E班

19	3番目のOE線を外側(山側)を回して、配電線腕金上部まで引上げる。(ピン碍子:中～外の間仮置きする。)	A～D班
	(12～15) 同作業を繰り返して、中OE線のデップ調整になったら、(内・外)のデップよりも強めに調整する事。	A～E班
20	(16～17) 38号柱の引止カ所の取付けが終了後、各柱の中OE線のバインド打ちを行う。	A～D班
21	バインド打ち終了後、38号柱にて、引止カ所のバインド打ち・縁回し作業を行う。	E班
22	各班の上部作業が終了したら、上部の跡確認・2重チェックを行う。	
23	29号柱に設置した、逃げ止め用シメラーを撤去する。(跡確認・2重チェックを行う)	AorB班
24	旧線の撤去・工具・材料の片付けを全員で行う。(大勢にて下回りの跡確認・2重チェックも行う)	A～D班
25	38号柱の上部作業が終了したら、上部の跡確認・2重チェックを行う。	
26	全作業終了後、接地金具の取り外し。(全作業終了後、新井カより近藤氏へ連絡) …跡確認・2重チェックを行う。	近藤・渡辺
27	日野構内10B柱のGS投入	
28	作業終了 三峰口構内まで、楽しくドライブ♪	新井・富田

帰路 準備作業・夜間作業、続けてお疲れさまでした。 帰りの道中、気をつけてお帰り下さい！
眠たくなったら、トミゾウさんのアホつつらでも思い浮かべながら… 眠気覚ましに… お疲れった…

※	撤去したOE線はすべて、ユニック車へ積み込んで下さい。(ユニック車にドラム台・空ドラムなど積んでおく)	
※	18日 全ての道具・撤去品を広瀬倉庫に搬入する。	全部なす！